

兵庫県教育委員会 (所在地：兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1)

事業名

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

事業の趣旨・目的

関係機関（当事者、大学、特別支援学校、社会福祉法人、民間企業、障害者の生涯学習の機会を提供する団体等）が連携コンソーシアムを形成し、障害者の生涯学習支援のための課題解決に向けた協議や取組を推進することにより、障害者の生涯学習を支える持続的・総合的ネットワークの構築をめざす。

事業内容

- 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムの開催
各関係機関・団体等が、これまで蓄積した取組をもとにそれぞれの強みを生かしたノウハウを共有し、互いに補完しながら取組を進めていくことで、障害者の生涯学習支援の充実を図る
- 調査・実践研究
 - ・博物館等の社会教育施設における活動を当事者の視点から見つめなおし、改善を加えることで施設の利用促進を図る「ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト」の実施
 - ・モデル地域において障害のある人の学び場づくりに関わる組織（行政や関団体）が地域ネットワークをつくり、それぞれの取組の価値を高め合うとともに、障害のある人のニーズに応じた新たな取組を協働して実施
(R7実績)
 - 三田地区：兵庫県立人と自然の博物館を核に新しい連携の取組をスタート
(博物館deピラティス、来館者へのイベント案内の配布活動等)
 - 東播磨地区：自立的にプログラムの開発・運営をしていく体制の構築を図るため懇話会を複数回実施
 - ・高等教育機関における知的障害者の学びの機会を創出するため、「神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム (KUPI)」を実施。知的障害者の学びの場における「特別の課程」制度により、修了者に履修証明書を授与

事業実施体制・連携先

当事者、県内大学、県ユニバーサル推進課、学校関係者、公民館関係者、障害福祉サービス等事業所、当事者保護者等を構成員とする「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムを設置する。継続した協議を行うため、個人ではなく、組織や団体を構成員とし、事務局を兵庫県教育委員会に置く。

- ・学校卒業後の障害者に幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得する機会を提供する学習プログラムの開発や実施体制について研究するため、身体障害者社会学級を開設
青い鳥学級（視覚障害者）、くすの木学級（聴覚障害者・言語障害者）
たけのご学級（筋ジストロフィー症等：兵庫中央病院入院患者）
- ・県内における「学びの場」についての調査の継続
障害者を対象とした生涯学習を支援している団体や場所などの情報を「学びの場」として集約し、「学び場検索アプリ」にて当事者をはじめ関係者に周知
さらに、学び場検索アプリに掲載されている団体等を掲載したパンフレットを配布することで、より広く周知
- 人材の発掘と育成
障害者の生涯学習を支援する人材を発掘し育成するため、支援経験に応じた内容の研修会を実施、対象者を社会教育施設職員・社会教育士にも広げる（年2回実施）
- 普及・啓発
 - ・「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」を実施し、障害者の学びの場づくりに関する好事例の共有を図るとともに、当事者・支援者間の交流を図ることで障害者の生涯学習活動を支援するネットワークを構築
 - ・本事業への関心や理解を深め、障害者の生涯学習を支援する際に参考になる情報をまとめたリーフレットを発行、また県内関係施設等に配布

事業終了後のめざす方向性

- 「障害の有無にかかわらず、誰もが共に学び、生きる共生社会」の実現
- ・地域の実所に応じた支援の質の向上や学びの場の拡大
 - ・障害者の学びを支える支援者やボランティアの増加
 - ・各地区の社会教育施設において、障害者の意見をもとに改善が加えられ、施設の利用促進が図られ、全ての人にとって利用しやすい施設になる。
 - ・学校卒業後の学びの場に関する情報を提供することで、当事者の学びへの意欲が向上する。

その他

令和7年度リーフレット
障害者の生涯学習を支援する際に参考になる情報、障害者の生涯学習推進のための地域ネットワークの取組や学び場検索アプリの紹介、学びに関する好事例等をまとめたリーフレットを研修会等にて配付、啓発



学びの検索アプリ
利用者が自らのニーズに応じて活動の場を検索するためのアプリの活用を周知



啓発パンフレット
学び場検索アプリに掲載されている団体等を掲載したパンフレットを作成、周知に活用